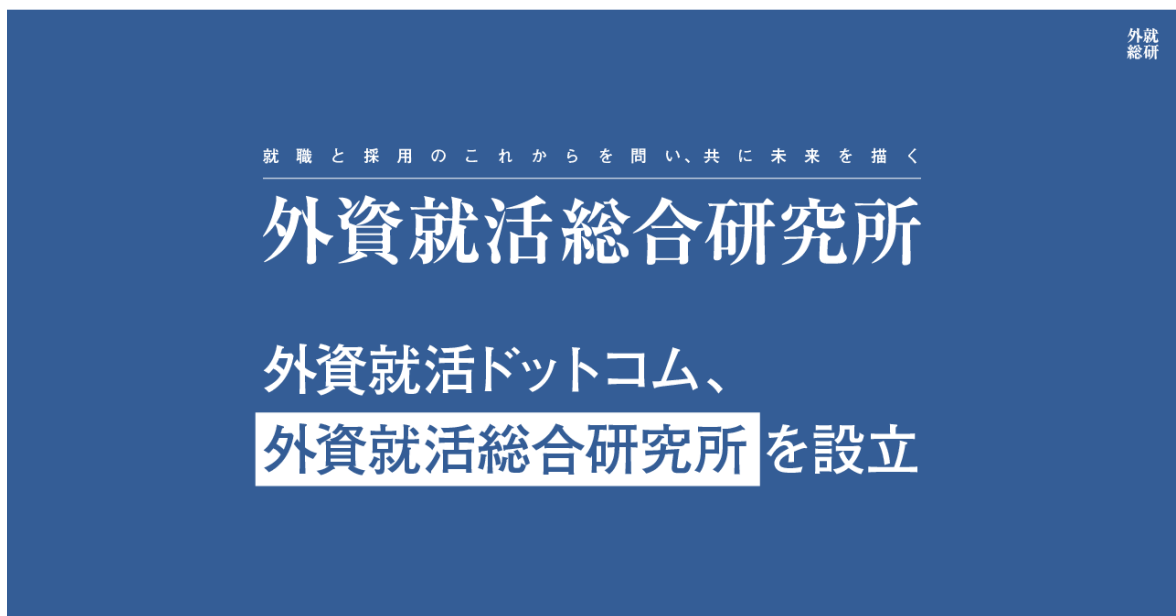


外資就活ドットコム、「外資就活総合研究所」を設立 第一弾「2027年卒 優秀層の就職活動調査(2025年5月)」を発表

早期就活は3年生春に本格化。サマーインターンは9割超が参加し、
内定に向けた重要ステップへ

「世界で挑戦できる人材を育み、未来を創る」を掲げ、ユーザーファーストを追求したキャリアプラットフォーム「外資就活ドットコム」を運営する株式会社ハウテレビジョン（東京都港区、代表取締役：音成洋介）はあらたに、就職と採用のこれからを問い、共に未来を描く「外資就活総合研究所」を設立いたしました。「外資就活総合研究所」では、優秀層の就職活動に関する調査や、企業の先進的な採用事例などを継続的に発信してまいります。第一弾の調査として、「2027年卒 優秀層の就職活動調査(2025年5月)」を発表いたします。



■「外資就活総合研究所」設立の背景

日本における労働力不足は、出生率の低下と高齢化の進行により深刻な社会問題となっており、企業はあらゆる取り組みで人材確保を進めるなか、新卒採用は単なる人材確保の側面だけではなく、中長期的な競争力や組織文化の形成に直結する採用活動です。コロナ禍以降、大卒求人倍率は上昇を続け2026年3月卒業予定の求人倍率は1.66倍（※1）と昨年比で0.09ポイント低下したものの、引き続き学生の売り手市場が続いており、企業にとっての新卒採用は高度化・複雑化しています。

加えて、学生のキャリア観や就職先に求める条件は多様化しており、従来の一律的な価値基準では動機付けが難しくなっています。こうした変化を受け、企業も“選ぶ側”から“選ばれる側”へと意識を転換し、優秀な人材を採用するために、初期配属の確約や年収の引き上げなど、待遇や制度の見直しを急速に進めています。

このような背景をうけて、国内外の優秀な学生と先進的な採用に取り組む企業を対象に、新卒採

【掲載に関するお問い合わせ】

株式会社ハウテレビジョン 広報担当

TEL：03-6427-2857 Email：press@howtelevision.jp

用の最前線を調査・分析し、未来の雇用をリードする知見を発信することを目的に「外資就活総合研究所」を設立いたしました。当社は2010年に「外資就活ドットコム」の提供を開始し、これまでの累計お取引企業数約1,000社、累計会員数約60万人のご支援実績（※2）を積み重ねてまいりました。「外資就活総合研究所」では、「トップクラスの優秀な学生×グローバル最先端企業の採用を科学し、雇用トレンドの新常識を創造する」をビジョンに掲げ、これまで「外資就活ドットコム」の運営で培ってきた実績を土台に、これからの学生の就活・キャリア観の変化と企業の採用進化を、客観的なデータと分析で牽引する研究機関を目指してまいります。

「外資就活総合研究所」ホームページ：

<https://ri.gaishishukatsu.com>

戸川 博司（所長）プロフィール：



2002年新卒で株式会社リクルート入社。17年にわたり、企業の新卒採用・中途採用支援をはじめ、営業組織・事業部人事・調査部門のマネジメントなどを歴任。人材紹介会社でのコンサルタント・採用コンサルティングなどを経験後、2023年に株式会社ハウテレビジョン入社。現在は、執行役員兼外資就活総合研究所所長。

※1 リクルートワークス研究所調べ、大卒求人倍率調査（2026年卒）

※2 当社調べ、2025年1月末時点

■「2027年卒 優秀層の就職活動調査(2025年5月)」

「外資就活総合研究所」の設立に伴い、第一弾の調査となる「2027年卒 優秀層の就職活動調査(2025年5月)」を発表いたします。

調査結果サマリー

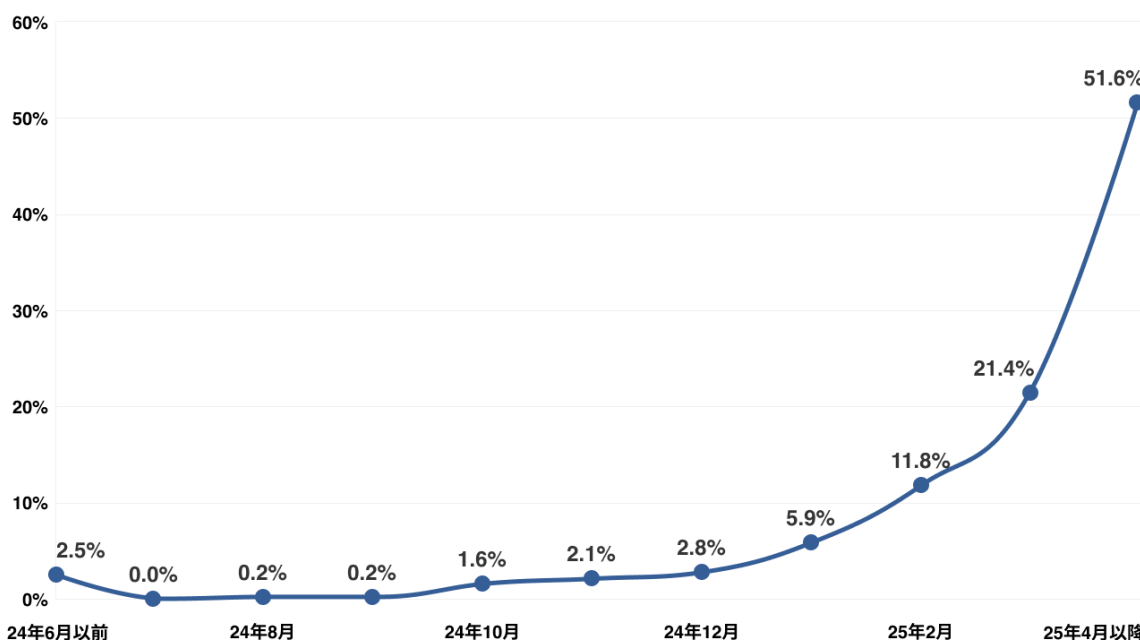
1. 就職活動開始時期は3年生4月以降に急上昇。早期就活が本格化
2. サマーインターン参加予定者は9割超、平均参加予定数は5.6社と早期活動の核に
3. サマーインターン選びでの重視点は「選考優遇」も4割超、内定獲得への強い意識がうかがえる
4. 「長く働きたい」安定志向と「将来の転職は必要」が半数以上で両立、変化を見据えたキャリア観が特徴。3割が起業志向をもつ
5. 早期（3年生5月時点）の志望業界は、「コンサル・シンクタンク」「日系メーカー・サービス」「商社」が人気トップ3

調査結果詳細

1.就職活動開始時期

早期から就職活動に取り組む学生の開始時期は、2年生の間に開始する割合（2024年6月以前～2025年3月までの合算で48.5%）と、3年生に入ってから開始する割合がほぼ半数ずつ。月別で見ると2025年の1月から活動を開始する層が徐々に増え、3年生4月から本格開始の様相。

就職活動開始時期 (大学生・単一回答)

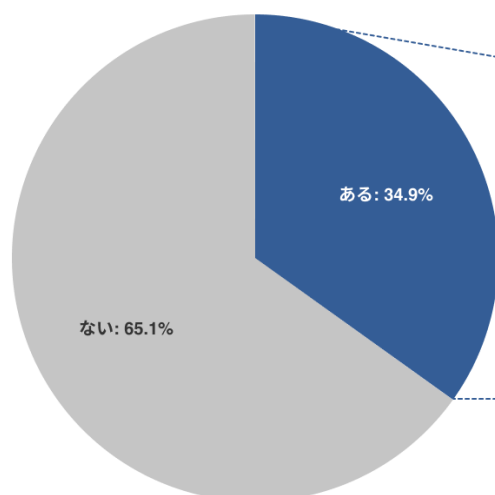


2.本エントリー状況

本エントリー（内定につながる本選考、採用直結のインターンへのエントリー）をしたことがある学生の割合は34.9%で、うち、2年生（2025年3月）までに就職活動を開始した学生が7割以上を占める。本エントリーをした時期は2025年4月以降に急激に増加する傾向が見られた。

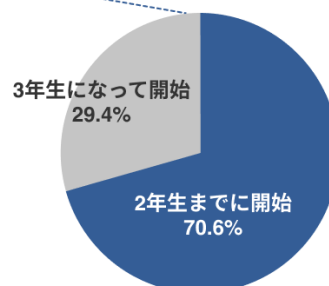
本エントリー経験割合

(大学生・単一回答)

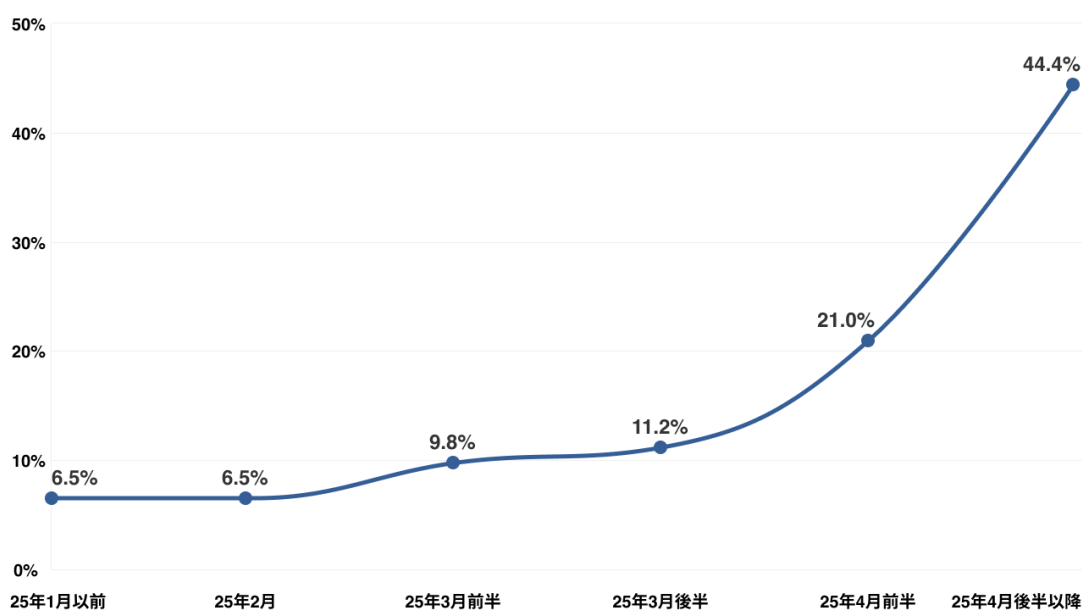


本エントリー経験者に占める
就職活動開始時期の内訳

(本エントリー経験者・単一回答)



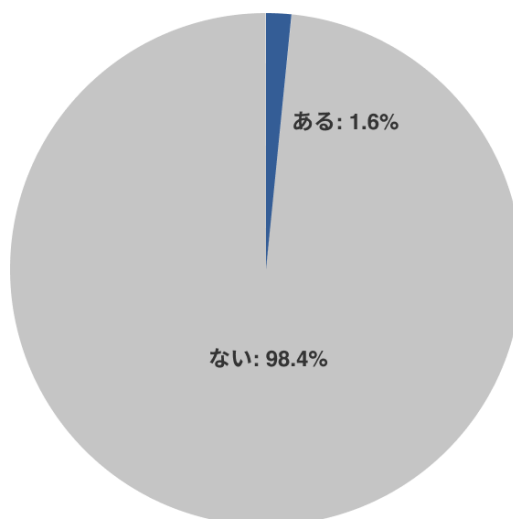
最初に本エントリーをした時期 (本エントリー経験者・単一回答)



3.内々定取得状況

すでに内々定を取得した学生の割合は1.6%。ごく少数ながら、一般的な選考とは異なるルートで内々定を得る学生がいることがうかがえる。

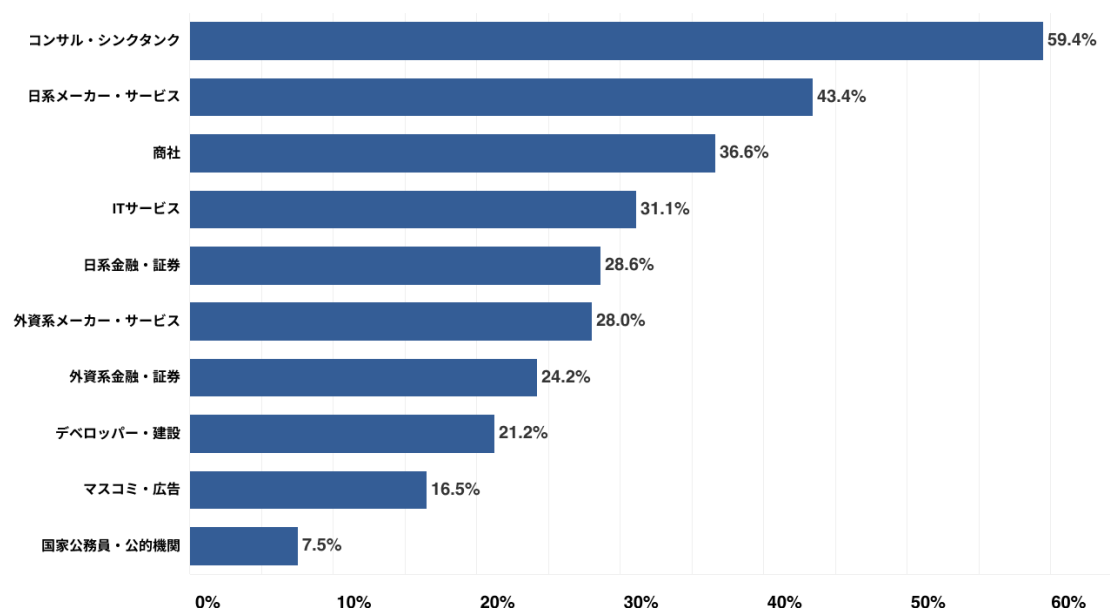
内々定取得率 (大学生・単一回答)



4.志望業界

志望業界の上位3業界は「コンサル・シンクタンク」「日系メーカー・サービス」「商社」の順となった。「コンサル・シンクタンク」は選考開始時期が早く、「日系メーカー・サービス」は業界の裾野の広さや、消費者としての馴染みやすさの点で就活初期の関心を集めやすかったことが要因と考えられる。

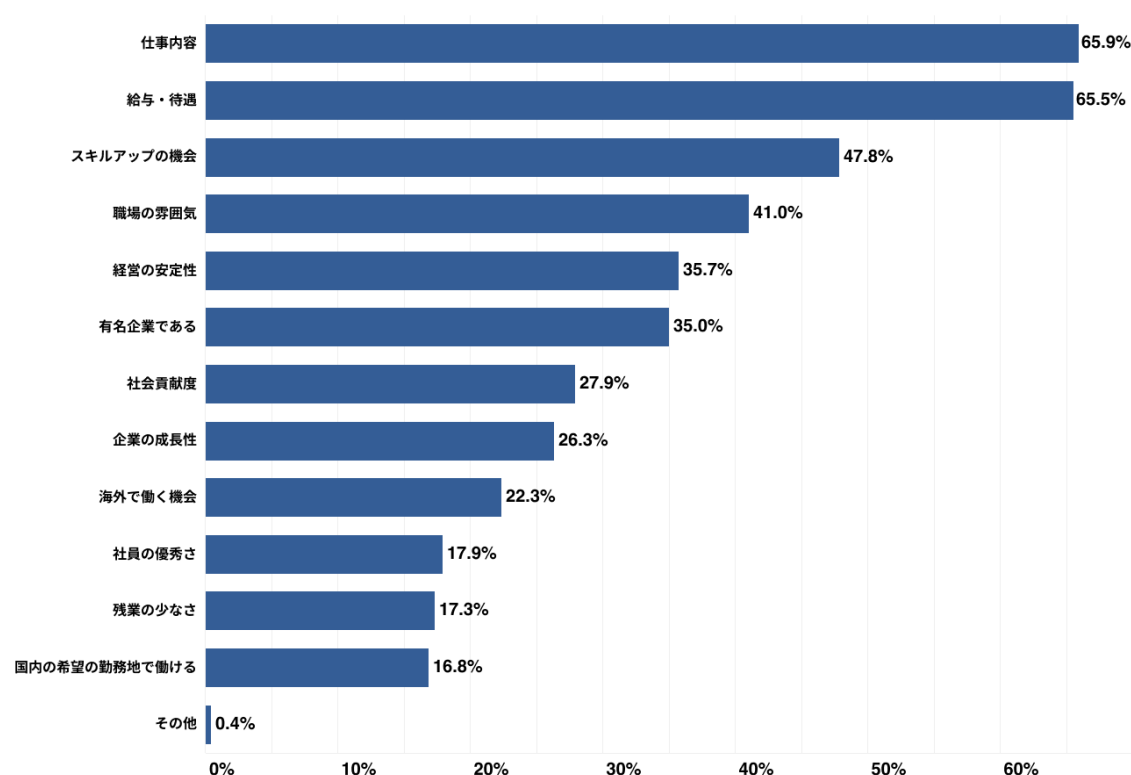
志望する業界 (全体・複数回答)



5.企業選びで重視すること

企業選びで重視することは、「仕事内容」「給与・待遇」の割合が高く、拮抗している結果となった。次いで、「スキルアップの機会」や「職場の雰囲気」を重視する割合が高かった。

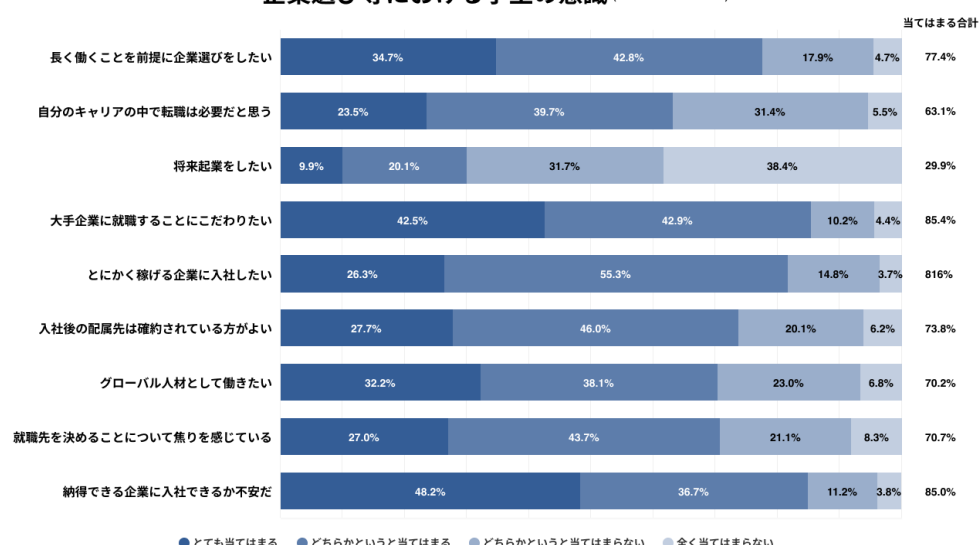
企業選びで重視すること (全体・複数回答)



6. 企業選び等における学生の意識

企業選びにおける学生の意識として、多くの学生が「長く働くこと」を前提に企業を選び、また大手企業への就職を重視する傾向が見られた。これは、安定した環境でキャリアをスタートさせたいという志向の表れと考えられる。一方で、将来のキャリアにおいて「転職は必要だ（63.1%）」「将来起業をしたい（29.9%）」と考える学生も一定いる。この背景には、最初の就職先で安定した基盤と成長の機会を確保しつつも、変化の激しい時代に対応するために将来のキャリアパスを柔軟に捉え、自身の市場価値を高めていきたいという、学生の戦略的なキャリア観があると考えられる。

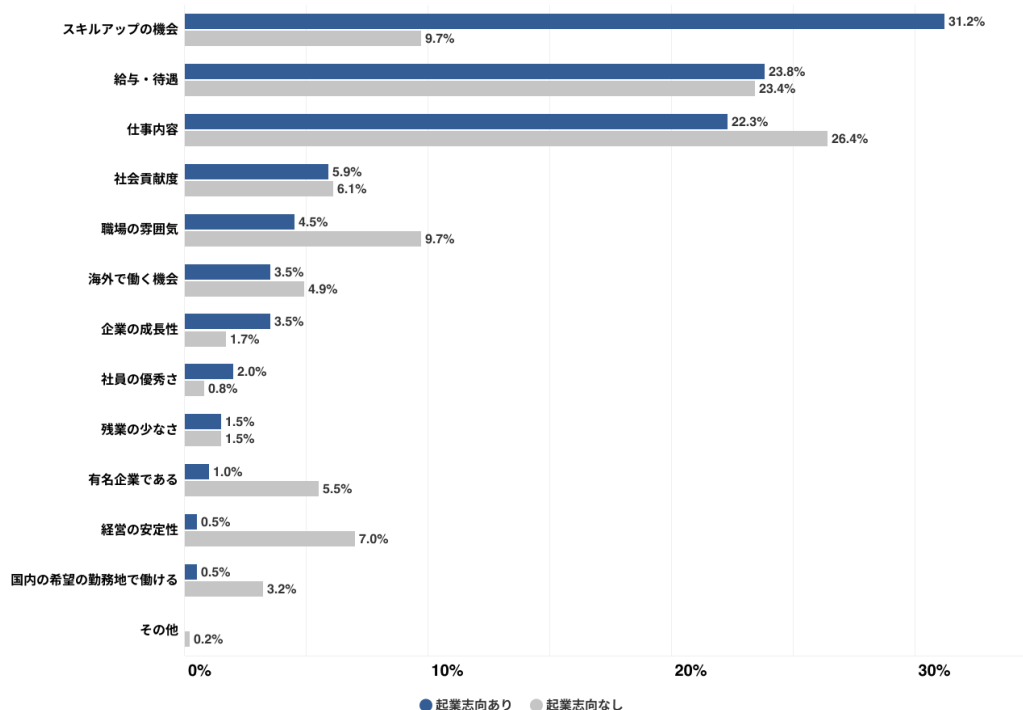
企業選び等における学生の意識 (全体・複数回答)



7. 起業志向を持つ学生が、企業選びで最も重視すること

起業志向の学生が企業選びで最も重視することは、「スキルアップの機会」が最も多く、起業志向がない学生と比較して顕著な差が見られた。将来的に起業を考えている層は、自身の成長に直結する経験や能力開発の機会をより優先していると見られる。

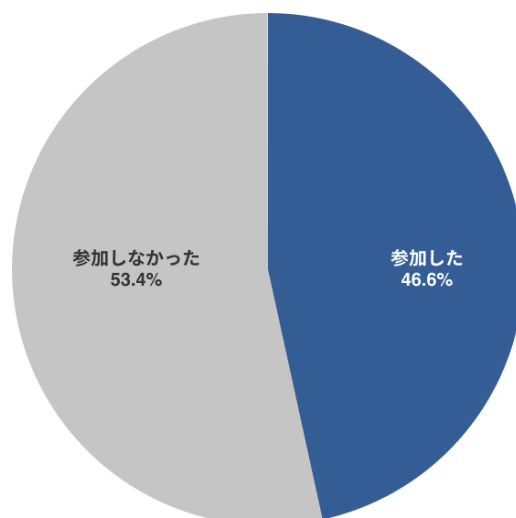
起業志向を持つ学生が、企業選びで最も重視すること (全体・単一回答)



8.春休み期間のインターン・企業セミナーの参加状況

春休み期間にインターンや企業セミナーに参加した割合は半数弱に上り、早期開始層の学生にとって、この時期はキャリア意識が顕著に高まり、具体的な行動へと移行する重要な転換期になっていると考えられる。

春休み期間のインターン・企業セミナーの参加状況 (大学生・単一回答)

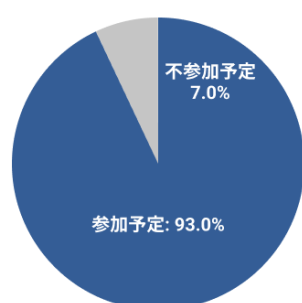


9.サマーインターンの参加予定

サマーインターンへの学生の参加意欲は極めて高く、9割以上が参加を予定し、平均参加予定社数も5.6社にのぼる。早期開始層において、サマーインターンへの参加はほぼ必須のステップとなっており、また複数社への参加を予定している学生が9割以上いることから、サマーインターンを通じた比較検討を積極的行おうとする様子うかがえる。

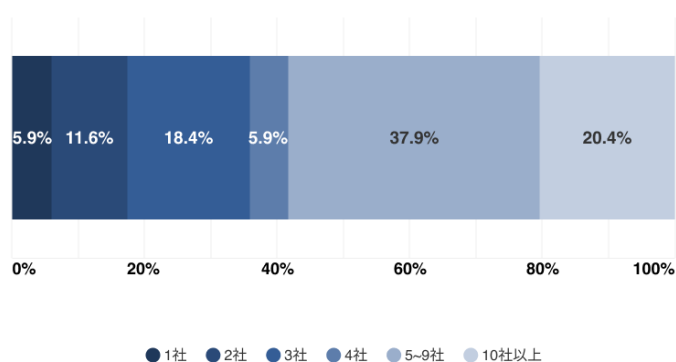
サマーインターン参加予定

(全体・単一回答)



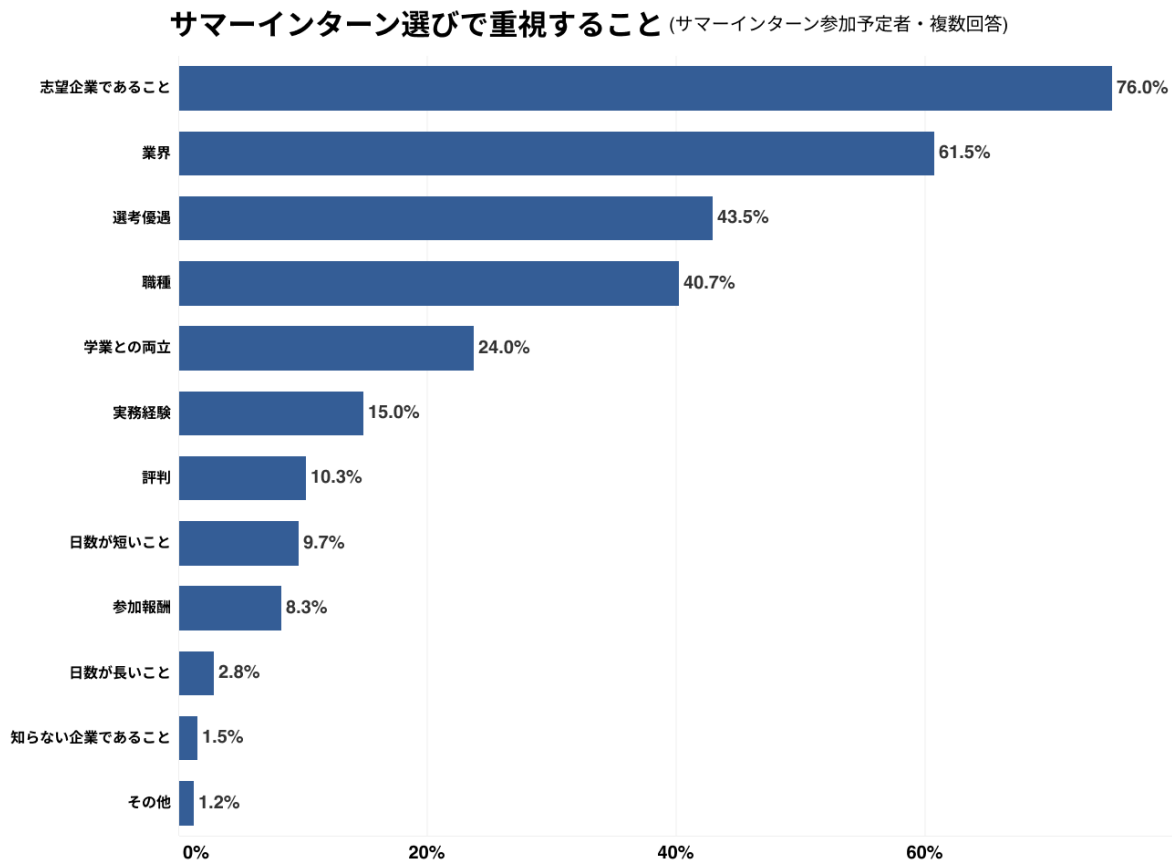
サマーインターン参加予定社数

(全体・数値回答)



10.サマーインターン選びで重視すること

サマーインターン選びで重視する点では「志望企業であること」が最も多く、さらに「選考優遇」も4割以上の学生が重視している。これらの結果は、多くの学生にとってサマーインターンが単なる職業体験に留まらず、内定獲得に直結する重要な機会として強く認識されていることを示唆している。



調査概要

調査名：2027年卒 優秀層の就職活動調査(2025年5月)
調査期間：2025年5月3日～2025年5月13日
調査方法：WEBアンケート
調査対象：2027年卒業予定の外資就活ドットコム会員
有効回答数：676名

回答者の所属大学の内訳

東京大学	京都大学	一橋大学	東京科学大学	慶應義塾大学	早稲田大学	その他旧帝大
12.7%	8.6%	3.7%	5.2%	11.8%	14.5%	19.7%
GMARCIH	上智・ICU・東京理科	関関同立	海外大	その他大学	大学院	
2.8%	1.3%	3.4%	0.3%	6.4%	9.6%	

「外資就活ドットコム」について

「世界で挑戦できる人材を育み、未来を創る」を掲げ、ユーザーファーストを追求した大学生向けキャリアプラットフォーム。次世代リーダーを目指す上で必要な羅針盤と方法論を提示すべく、キャリアを深掘りしたコラム記事、厳選した本選考情報ならびにインターンシップの情報、学生同士のコミュニケーション機能、社会で活躍するプロフェッショナルから直接回答が得られるOB/OG相談室など、豊富なコンテンツを取り揃えています。

サービスページ：<https://gaishishukatsu.com/>

企業様向けページ：<https://biz.gaishishukatsu.com/>

会社概要

会社名	株式会社ハウテレビジョン
代表者	代表取締役 音成洋介
所在地	〒107-6032 東京都港区赤坂一丁目12番32号 アーク森ビル32階
設立	2010年2月9日
事業内容	プラットフォーム運営事業
運営サービス	外資就活ドットコム、外資就活NEXT、mond、ログリオ